



## サミットプログラム

総合司会 長谷川 直子（フリーアナウンサー）

12:00 オープニング 東京阿波踊り

12:30 開会式

・主催者あいさつ

内閣府男女共同参画局長 坂東 真理子

杉並区長 山田 宏

・来賓祝辞

東京都副知事 福永 正通

杉並区議会議長 梅田 ひさえ

13:00 男女共同参画推進本部報告

内閣府男女共同参画局長 坂東 真理子

13:30 基調講演「新しい歌をうたおう」

講師 鈴木 光司（作家）

14:50 シンポジウム

パネリスト 男女共同参画宣言都市首長

石川県小松市長

栃木県小山市長

埼玉県新座市長

富山県富山市長

長崎県佐世保市長

東京都杉並区長

コーディネーター 小平桂子アネット（キャスター）

16:50 サミット共同宣言

東京都杉並区長

次期開催地あいさつ

福井県福井市長

愛媛県新居浜市長

17:00 閉会式

すぎなみサミット実行委員会委員長 金平 輝子

## 主催者あいさつ

内閣府男女共同参画局長 坂東 真理子



内閣府男女共同参画局長の坂東でございます。平成14年度全国男女共同参画宣言都市サミットが、ここ東京都杉並区において開催されるに当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、御参加いただきました各宣言都市の市長さん、また日頃から男女共同参画社会づくりに向けて取り組んでおられる皆様方に、心より御礼を申し上げます。さて、この男女共同参画というのは、女性と男性が互いにその人権を尊重しつつ、その個性と能力を十分に発揮できる社会と定義されております。これが21世紀の我が国社会を決定する最重要課題の一つとされております。いろいろな面で閉塞感が目立つ今日の日本社会において、この男女共同参画というのが新しい未来を開く一つのキーワードなのではないかなと思っております。

具体的には、また後で時間をいただいて、私の方から御説明をさせていただきますが、国の方では男女共同参画社会基本法、また男女共同参画基本計画に基づきまして、様々な施策を推進しております。また、男女共同参画会議というのがございますが、その下に専門調査会を設置いたしまして、基本問題、あるいは女性に対する暴力、あるいは苦情処理、監視、影響調査といった課題に向けて検討を行っております。また、女性に対する暴力、専門調査会の方でも検討しているのですが、昨年成立施行されました配偶者暴力防止法が、これは4月から全面施行されまして、国としてもこれが本当に被害を受けている女性たちを支える実効を上げるためにはどうすればよいかということで、いろいろな取組をしております。

また、日本の国内で男女共同参画社会をつくるということと並びまして、広く世界の女性の地位向上と申しますか、世界における男女共同参画の推進ということも大きな課題です。従来、どちらかという日本は海外から、世界から刺激を受ける方で、世界に対して発信するということは少なかったんですけども、アフガニスタンの女性支援ということの一つの切り口といたしまして、今後の日本の国際協力、ODAの提供に当たって、男女共同参画の視点を持つというのはどういうことなのかといったことを提言しております。

もちろん、男女共同参画社会というのは、国だけで推進されるものではありません。住民の日々の生活に一番近い行政を行っておられる地方公共団体において、男女共同参画に取り組んでいただくということが重要でございます。いわば、男尊女卑から男女共同参画へというのが一つのキーワードだと思うんですけども、中央集権から地方分権へというのも、もう一つ大きな流れだと思います。地方分権の時代、国が何かモデルを指し示して、全国で同じようにやっていくというような時代ではなく、それぞれの地方が、それぞれの市、都道府県が、御自分たちでいろいろ工夫を凝らしていただく。こういった形で、現場から男女共同参画の実が上がるということを期待



しております。

その意味で、この男女共同参画宣言都市というのは平成6年度に開始されまして、昨年度までに全国で45の自治体におきまして、この内閣府と共催をしております。いろいろな取組が、それぞれの市で行われております。また、この平成8年度に開始しました宣言都市サミットは、宣言都市の首長の方たちに集まっていただいて、具体的な事例を紹介していただくということになっております。きっとそれぞれの自治体のユニークな取組が、お互いのヒントになるということがあるのではないかと思いますし、そのネットワークが広がっていくことを期待しております。

最後になりますけれども、本日のサミットを開催するに当たって、大変御尽力をいただきました杉並区の山田区長、金平輝子実行委員長に心から感謝を申し上げますとともに、参加された皆様方の一層の御活躍をお祈り申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

## 主催者あいさつ

杉並区長 山田 宏



ご紹介をいただきました山田でございます。主催者の一人として、一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

本日はこのサミットへたくさんの方にご来場いただきました。近くからも、また遠くからもおいでいただきました。まず区長として、区民を代表して歓迎申し上げたいと思います。ようこそおいでくださいました。ありがとうございました。

また、本日は宣言都市サミットということで、全国から市長さんがたくさんおいでになっていただいております。それぞれ、あとご紹介があると思いますけれども、小松市の西村市長さん、そしてまた新座市の須田市長さん。そして、栃木県小山市の大久保市長さん。また、長崎県佐世保市の光武市長さん。そして、富山市の森市長さん。たくさんのお市長さんにおいでいただきました。厚く御礼を申し上げたいと思います。また、本日は壇上に東京都を代表して副知事の福永副知事、そして区議会から、杉並区は今年初めての女性議長が誕生いたしました。ちょうどこのサミットにふさわしい梅田議長さんも、壇上、花を添えていただきました。心から厚く御礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。

さて、杉並区が誕生して70周年という記念すべき年に、また男女共同参画都市宣言を行って5周年という一つの節目の年にサミットを開くことができました。ここに至るまで、内閣府の坂東局長さん、そしてまた実行委員長をお務めいただいた金平さんをはじめとして、多くの実行委員の皆様に、協力をいただきました。厚く御礼を申し上げたいと思います。

杉並区は70周年の間、たくさん歴史を築いてまいりましたが、女性のパワーが非常に強い地域でもございます。一つの例を挙げますと、1954年の3月に第五福竜丸事件というのがございました。ビキニ環礁でアメリカの水爆実験によって被爆をした第五福竜丸が3月1日に帰港してきました、大問題になりました。そのあと、杉並区の公民館で様々な女性の方々が勉強会を開いてきたわけでございますが、その中の一つとして婦人団体の協議会が4月に例会を開いて、女性の参政権の問題を議論しようということがございました。ところが、その中でこのビキニ環礁の事件のことが話題になりました。その女性の参政権もいはいけれど、まずこの水爆の実験をやめさせるためにはどうしたらいいかということが議論になりました。

そしてその中で、魚屋さんをやっていた女性の方が、非常に魚が売れなくて迷惑をしている。狂牛病みたいなものです。非常に迷惑をしているということで、ぜひこの水爆の実験の禁止運動を魚屋さん全体でやっているから、それもなんとかして欲しいということをお話しになった。そ



ここで杉並区の公民館の館長をやっていた安井館長さんが、これは全国の運動にしていくべきだということで、実は原水禁の運動そのものは杉並区の公民館、しかも女性の人たちを中心としてスタートしたわけでございます。それが全国に広がり、世界に広がって、今日の原水禁運動の大きな先駆けとなった。署名運動も5月に始めまして、1カ月間で確か26万人ぐらいの署名が集まったということです。当時の杉並区の人口は39万人ですから、7割の人が署名した。これだけの署名を集めた力も、すべて女性の方々でございました。

そういった意味で、杉並区は、ある面では女性の方々が新たな社会運動を起こし、社会を担ってきたという歴史を踏んできているわけではございます。しかし日本の歴史では明治維新以降、男性中心の社会というものが築かれていった。もともと日本の社会というのは、男女それぞれが役割を分担しながら、きちっと支えていくというのは神話にもありますし、そういう意識がある国民だとは思うんですけども、とりわけ近代化以降、いろいろなことが起きてきました。そういった中で、そういう社会風土をもう一度正常な姿に戻していこうではないかということで、男女共同参画という考え方が、今推進をされているものというふうに私は認識をしております。

東京で初めてのサミットが、今日ここに開催をされました。ぜひ、ここでの議論が実り多きものになるように期待をいたしております。また、この会場ではなくて別会場のセッションというところでも、昨日から5日までいろいろな方々がいろいろな展示をされたり、発表会をされております。どうぞ、そちらのほうにも足を運んでいただき、またご意見をいただき、またいろいろな声を寄せていただきたいと思いますと考えております。

オープニングは、高円寺の阿波踊りでスタートしました。これは2日間で100万人以上の方々がおいでになるというイベントになりました。ご覧いただいたとおり、男女織り交ぜて、それぞれの人たちがそれぞれの踊りを披露してくれました。こういうイメージの社会というものが、やはり豊かな社会だろうと考えております。

そういう意味で、今日のサミットが皆様のご協力をいただいて大きな会になりますように心からご期待申し上げまして、大変長いごあいさつになって恐縮でございましたけれども、皆様に御礼のごあいさつに代えさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

## 来賓祝辞

東京都副知事 福永 正通



ただ今ご紹介をいただきました東京都副知事の福永でございます。本日は、全国男女共同参画宣言都市サミット in すぎなみにお招きを賜りまして、まことにありがとうございます。男女共同参画社会の実現は、21世紀におきます我が国の最重要課題の一つとされております。内閣府を中心といたしまして、各省で様々な事業が進められております。東京都におきましても、平成12年に全国の自治体に先駆けまして、東京都男女平等参画基本条例の制定をいたしました。社会生活や家庭生活において、男女を問わず一人一人が個性と能力を十分に発揮し、責任を分かち合う社会の実現を目指しております。

今年の1月には、この条例に基づきまして、男女平等参画のための東京都行動計画を策定したところであります。この行動計画は、都の施策だけではなく、都民の皆さん、そして事業者の皆様それぞれの取り組みを盛り込んだものとなっております。今後も都民の方々をはじめ、多くのNPOの方々、あるいは事業者の方々と共に男女平等参画社会の実現を目指してまいりたいと考えております。また同時に、男女共同参画宣言をされた杉並区の積極的な取り組みにも、大いに期待をいたしております。

結びに、この全国男女共同参画宣言都市サミット in すぎなみの成功と、宣言都市の皆様のご発展を祈念申し上げまして、お祝いのごあいさつとさせていただきます。本日は、まことにおめでとうございました。



## 来賓祝辞

杉並区議会議長 梅田 ひさえ



杉並区議会議長の梅田でございます。一言ごあいさつを申し上げます。本日は、全国男女共同参画宣言都市サミット in すぎなみに、こうして杉並に多くの方においでをいただきまして、本当にありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

杉並区議会の歴史をひも解いてみますと、昭和 22 年に女性の被参政権がスタートいたしまして、その 4 年後の昭和 26 年には杉並区議会議員定数 48 名の中で、女性が 12 名立候補いたしまして、4 人が当選をしております。そして、以来今日まで 50 年が経過をいたしております。現在の杉並区議会は 52 名の定数でございますが、女性が 15 名在籍をいたしております。これは東京 23 区の中でも、最も高い 28.8% を占めております。そして、また社会に目を向けてみますと、私も含めまして女性の力がたいへん伸びまして、発揮をされてきております。あらゆる場面、あらゆる分野で女性が目覚ましい活躍の中で、これは目を見張るところでございます、男女共同参画の趣旨がしっかりと根付いてきた証ではないかと思っております。

よく私どもも平等という言葉を使いますし、またお聞きもいたしますけれども、共に支え合って、そして共に働き合っこそ平等でありまして、共同参画の趣旨が活かされることであり、そしてまたこのことは今後ずっと普遍の流れとなってくることを信じております。これからも、この世の中で、この精神をしっかりと引き継ぎまして、それぞれの分野で男女が共に活躍できるような、そんな努力を区議会といたしましてもこれからしてまいります。今日を契機に、ぜひこの男女共同を多くの皆様方に知っていただく努力も、これからしてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、今日ご参集、ご参加いただきました皆様方の今後のご活躍を心からお祈りをさせていただきます、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は、まことにおめでとうございます。